

第1回臨時会の議案

平成22年第1回臨時会は、3月31日の1日の会期で開催されました。この臨時会では、区長から、「国民健康保険条例(一部改正)」の議案が提出され、次のとおり可決されました。以下、概要をお知らせします。

区長提案

条例(一部改正)

▼国民健康保険条例

国民健康保険条例に所要の改正を行う。

(1) 企業の倒産、雇止め等により失業した被保険者に係る保険料を軽減する。

(2) 国民健康保険の基礎賦課額の保険料率について改定する。

(3) 後期高齢者支援金等賦課額の保険料率について改定する。

(4) 第二号被保険者に係る介護納付金賦課額の保険料率について改定する。

(5) 租税条約の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律の改正に伴い、規定を整備する。

施行期日 平成22年4月1日
(租税条約の実施に伴う所得税法、法人税法及び地方税法の特例等に関する法律の改正に伴う改正規定は平成22年6月1日)

〔現行〕所得割 100分の68
被保険者均等割 2万7千600円

〔改正後〕所得割 100分の80
被保険者均等割 3万1千200円

〔現行〕所得割 100分の15
被保険者均等割 1万1千100円

〔改正後〕所得割 100分の21
被保険者均等割 1万2千円

〔現行〕所得割 100分の23
被保険者均等割 8千700円

〔改正後〕所得割 100分の9千600円
被保険者均等割 9千600円

代表質問

区政をきく(代表質問・一般質問)

平成22年第1回定例会では、区政全般について、5名の議員が代表質問を、8名の議員が一般質問を行いました。以下、概要をお知らせします。

協力を求めているのか。⑯区内の高校や大学との連携方法等は。⑰区職員の社会貢献や地域との連携についての考えは。⑱協働による区政運営と議会との関係は。⑲財政自主権について見解を伺う。

区長 ①来期も引き続き長期基本計画の実現と区政のさらなる発展のため力を尽くす。②商業・サービスの創業を支援し、製造業については受発注の増加を図っていくなどだ。③十分に協議・調整を行って、校長は保育園との連携について意欲的だ。④親と子がともに学び成長できる環境を整える。⑤高齢者住宅に介護サービス拠点を併設する等、在宅サービスを円滑に提供するなどだ。⑥施設設置の支援などに努める。⑦国の動向を見据えるなど改定の準備を進める。⑧(仮称)「しながわCSR推進協議会」を立ち上げ、企業との連携・協働を進める。⑨連携・協働の輪を広げ、教育ボランティア認証についても今後の動向を注視する。⑩地域貢献活動の担い手として活躍すべきだ。⑪議会と行政が力を合わせることで、より効果的な施策の実現に結びつくことを考える。

教育問題について

①小1、中1に40人のクラスが発生したときに、どのように対応するのか。②土曜日の授業実施についての考えは。教育長 ①少人数指導の実績や指導体制、学校施設の状態をもとに判断をするなどだ。②地域行事やスポーツ活動などに配慮し計画を立てている。

まちづくりマスタープランについて

①まちづくりマスタープランは⑦のような計画を検討するのか。②なぜ今検討が必要なのか。③市街地整備を進めてきたが、各地区の特色を生かし、地域の産業と一体となったまちづくりが行われてきたのか。④拠点整備を行ったことで、まちがどのように変化し、成果が得られたのか。防災まちづくり事業部長

①市街地整備基本方針と住宅マスタープランを合わせたものだ。②整合を図る必要がある計画が改定されたなどだ。③住宅と商業と業務とのバランスのとれたまちづくりを進めている。④平成22年度に基礎調査を行うなど、これまでの成果を検証し、新たなマスタープランに反映する。

議場傍聴席に段差解消機を設置しました



段差解消機

車椅子をご利用の方が気軽に本会議を傍聴していただけるよう、移動を円滑にするため、議場傍聴席にエレベーター型の段差解消機を設置しました。

これにより、車椅子をご利用の方4人まで本会議の傍聴が可能となりました。第1回定例会からご利用いただいております。傍聴を希望される方は、区議会事務局で傍聴券の交付を受けてください。傍聴券は本会議の1時間前から交付します。ご希望の方は区議会事務局議事係(電話5742・6809)までお問い合わせください。



鈴木 真澄 議員 (自民)

平成22年施政方針について

①今年10月に区長の任期が満了となるが、区に対する思いは。②区内産業の活性化に向け、支援の方向性は。③小学校余裕教室を保育園の分園とすることに、小学校における理解や協力体制は。④子育て支援に向けた方針を伺う。⑤高齢者の生活支援の推進について、新しい公共住宅のあり方等は。⑥老人保健施設の検討状況は。⑦第五期介護保険事業計画に向けた検討は。⑧品川区民芸術祭の計画状況

は。⑨文化芸術・スポーツ施設の充実に環境整備に努力を。⑩公立以外の保幼小施設との連携については、どのように対応するのか。⑪品川区配偶者暴力対策基本計画にどのように取り組むのか。⑫区有施設等の改装・改築時の環境に対する改修指針はあるのか。⑬学校耐震化は国の補助金の対象にならなくても実施するのか。⑭災害対策全般に向けた方向性は。⑮企業との協働についてどのような

協力を求めているのか。⑯区内の高校や大学との連携方法等は。⑰区職員の社会貢献や地域との連携についての考えは。⑱協働による区政運営と議会との関係は。⑲財政自主権について見解を伺う。

区長 ①来期も引き続き長期基本計画の実現と区政のさらなる発展のため力を尽くす。②商業・サービスの創業を支援し、製造業については受発注の増加を図っていくなどだ。③十分に協議・調整を行って、校長は保育園との連携について意欲的だ。④親と子がともに学び成長できる環境を整える。⑤高齢者住宅に介護サービス拠点を併設する等、在宅サービスを円滑に提供するなどだ。⑥施設設置の支援などに努める。⑦国の動向を見据えるなど改定の準備を進める。⑧(仮称)「しながわCSR推進協議会」を立ち上げ、企業との連携・協働を進める。⑨連携・協働の輪を広げ、教育ボランティア認証についても今後の動向を注視する。⑩地域貢献活動の担い手として活躍すべきだ。⑪議会と行政が力を合わせることで、より効果的な施策の実現に結びつくことを考える。